



地域振興構想について

問 国道126号の4車線化について今後の計画を伺います。

答 建設環境部長 東金市との行政境から約3750メートルの区間が4車線化の都市計画が決定されていますが、事業化されていない状況です。

問 成田空港の機能強化に伴う雇用の増加により、芝山はにわ道の交通渋滞が予想されますが、見解を伺います。

答 建設環境部長 空港周辺市町の新たなまちづくりや、産業・生活の拠点の整備に併せて必要となる道路整備について、近隣市町および千葉県と意見交換しながら、主要地方道成田・松尾線（通称…芝山はにわ道）のさらなる整備を、県等に要望してまいります。

問 飯岡一宮バイパス「木戸川橋りょう」の進捗を伺います。

答 建設環境部長 飯岡一宮バイパス建設促進期成同盟会として、令和6年10月に千葉県県土整備部長へ知事宛ての要望書を手渡し、早期完成を強く要望しているところです。

宛ての要望書を手渡し、早期完成を強く要望しているところです。

小松地先市有地残土問題

問 この問題は、市のさまざまな管理体制により、これまでに多額の予算が使われています。今後は、お金がかからない残土の有効活用に変化して取り組むべきと考えますが、見解を伺います。

答 市長 現在、現場工事事業者および土砂搬入事業者を対象に調査を進めており、判定の結果、使用できるものであれば、地元住民のご意見を伺いながら、有効活用を検討してまいります。

日向の森について

問 民間企業と締結している、日向の森の一部を対象とした森林の保全活動に関する協定の内容を伺います。

答 産業振興部長 平成24年10月にワタミグループが支援するNPO法人と10年間の協定を締結し、森林保全活動（植樹後の間伐・枝打ち等の保育活動、作業道整備、植樹祭の開催、生息調査等）が開始されました。その後、令和4年4月には再度協定を締結し、現在も活動が継続されています。

また、これまで手つかずのまま放置されていた森林が整備されたことで、令和5年度からは市内小中学校の森林環境学習に活用しており、環境問題への理解や動機づけに役立てています。



小松地先市有地残土問題における今後のあり方について

問 調査の進捗状況および地質分析結果証明書23枚により何立米の調査が実施できたのか伺います。

答 建設環境部長 土砂発生元事業者13社のうち9社から土砂搬出に関する関係資料の提出があり、3社は資料不存在、1社は提出準備中です。

土砂運搬業者へは、ヒアリングや中継地の現場確認を実施し、現在も調査継続中となります。

土砂発生元事業者から提出のあった19現場分の資料により、工事現場から発生した建設発生土のうち、約4500立米が搬入されたと思われるです。

（調査時点…令和6年11月）

問 全体土量である約5万立米とは大きく乖離しており、現在も調査確認中とのことですが、市による調査が困難ならば、土砂搬入業者を市残土条例違反として、警察に通報すべきと考えます。

えませんが、市の見解を伺います。

答 建設環境部長 調査継続中ではありますが、新たな土砂発生元の判明は難しいことも想定されます。

残土条例に基づき「埋立てを規制している改良土なのか、安全基準に適合しない残土なのか」情報が乏しい中、土質性状等により判断してまいります。

千葉県警察とは、令和6年9月に本市調査状況について意見交換を実施しており、今後、警察が対応すべきことが確認された際は、改めて協議してまいります。

空き家を増やさない対策

問 空き家になる可能性が高い75歳以上の単身世帯数は、2989世帯あるとのことですが、高齢者向けに配布されるエンディングノートには「住んでいる家をどうしたいのか」意思を確認できる項目があるのか伺います。

答 都市整備課長 本人の意思を記入する項目はありませんが、「家じまい」を考えていただく必要性はあると思います。

国土交通省、日本司法書士会および全国空き家対策推進協議会が共同で発行している「住まいのエンディングノート」の周知も含め、本人の意思表示の方法を検討してまいります。

【その他の質問】豪雨に備えたマイタイムライン（防災行動計画）